

# スクミリンゴガイの防除法を研究 加熱水蒸気を圃場に噴射

## 静岡県農林技術研究所

【静岡支局】静岡県内で発生が拡大しているスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)に対する新たな防除法として、静岡県農林技術研究所では井鍋大祐研究員(27)を中心に新たな研究が始まった。それは蒸気除草機を活用し、蒸気によって病害虫を駆除できないかというものだ。

# ネットワーク 東海

お問い合わせ先

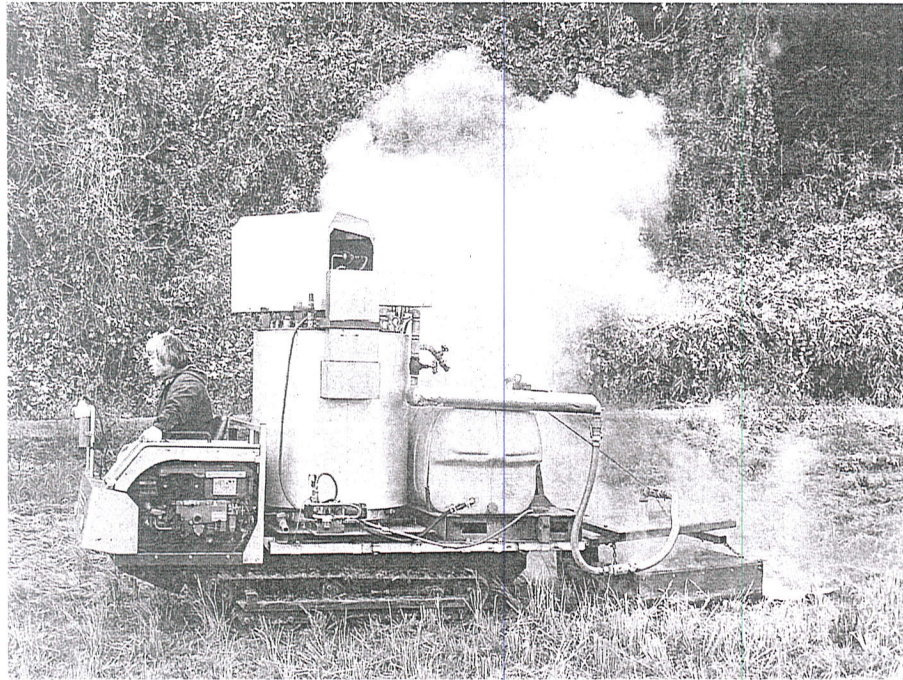
岐阜支局 〒501-6132  
岐阜市次木 348-1  
☎058(270)0082  
http://www.nosai-gifu.or.jp/

静岡支局 〒420-0858  
静岡市葵区 伝馬町16-3  
☎054(251)3511  
http://www.nosai-shizuoka.or.jp/

愛知支局 〒460-0002  
名古屋市中区 丸の内2-1-11  
☎052(204)2411  
http://www.nosai-aichi.jp/

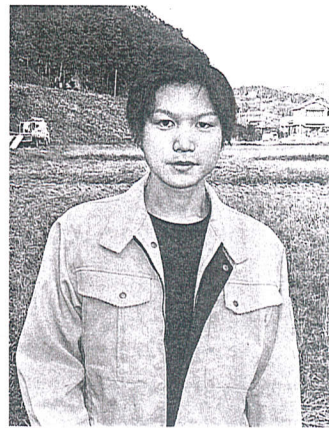
三重支局 〒514-0003  
津市桜橋 1-649  
☎059(228)5135  
http://www.nosaimie.or.jp/

農業共済組合連合会  
市町村農業共済組合



## 自走式除草機を活用 有機栽培の助けに期待

近年、雑草イネ、ネズミミギ、帰化アサガオ類など有効な除草剤の登録がない難防除雑草がまん延し、その被害が問題となっている。独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構の浅井元朗農学博士の研究「蒸気処理による作物収穫後地表面の雑草種子駆除技術」において、これら雑草の多発圃場において作物収穫後・不耕起状態の



井鍋研究員

非作付け期間に、地表面の当年産種子を駆除できれば、埋土種子密度が大幅に減少し、慣行の防除法で安定生産が可能な圃場に修復することが期待される。そこで地表面の雑草駆除を目的とした、土地利用型農業に利用可能な自走式の蒸気除草機を開発した。

開発した自走式蒸気除草機は圃場運搬機に水タンクとボイラーを搭載し、運搬機後部に連結した鉄製のフレーム内側に耐熱ゴムで仕切り気密性を高めた内部に加熱水蒸気を噴出し、圃場地表面に熱伝導するというものだ。

この自走式蒸気除草機により加熱した水蒸気を作物収穫後の圃場地表面に噴射し、最高温度を約95度まで上昇させることで、地表面の雑草種子(雑草イネ、ネズミミギ、帰化アサガオ類)を90%以上死滅または堅実打破させ、次作の萌芽数を大幅に減少させることが実証された。

そこで、井鍋研究員は自走式蒸気除草機により加熱した水蒸気でスクミリンゴガイを駆除できないかと考えた。その最初の試験として12月10日に掛川市の圃場で自走式蒸気除草機を走らせた。今年の春には蒸気処理を行った圃場と行わなかった圃場の比較や地中などの程度の深さまで効果があるかなどいろいろな試験が行われる予定だ。

井鍋研究員は「薬剤では防ぎきれない病害虫に対する防除技術の確立と有機栽培時における有効な防除手段となれば」と今後の研究成果に期待している。(角田・植田)

自走式蒸気除草機で圃場に蒸気を噴射。今後、効果の検証など試験を行う予定だ